

北信越支部

総会および研究発表・製品発表検討会の報告

北信越支部では5月24日に長岡技術科学大学(長岡市)において支部総会, 支部賞授賞式, 研究発表・製品発表検討会を開催した. 49件の発表があり, 74名が参加した.

総会では, 2007年度事業報告, 会計報告および2008年度事業計画, 予算案が承認された. また, 授賞式では, 雪氷技術賞1名, 大沼賞1名, 雪氷功労賞1名の計3名に対し支部賞が授与された. 支部賞受賞者とプログラムは以下のとおりである.

支部賞受賞者

雪氷技術賞: 宮崎伸夫 (有限会社クライメットエンジニアリング)

「降積雪調査用具の高度化と普及に関する貢献」
大 沼 賞: 庭野昭二 (元森林総合研究所十日町試験地)

「長年にわたる降・積雪及び気象観測, 並びに雪氷研究に尽くした功績」

雪氷功労賞: 対馬勝年 (富山大学名誉教授)

「雪氷の摩擦や利雪等に関する研究と長年にわたる支部運営に果たした功績」

3. 一般飲食店の温排気を利用した融雪システムの熱設計
○藤野丈志・池野正志 ((株)興和)・上村靖司 (長岡技大)
4. 霜取り時間を考慮した融雪用空気熱源 HP の熱出力設計
○宮島洋平 (長岡技大院)・上村靖司 (長岡技大)
5. 北信越地方における過去の氷雪貯蔵所 (雪室・氷室) 数の変遷と分布
○山口健太郎 (新潟大院), 和泉 薫・河島克久 (新潟大・災害復興科学セ)
6. 雪室をビルトインした雪冷房住宅
上村靖司 (長岡技大)・伊藤親臣 ((財)雪だるま財団)・広井年郎 ((有)アクトホーム)・永井宏幸・○宝地戸謙介 (長岡技大院)
7. 冷水流下による対流・放射複合空調システムの開発
上村靖司 (長岡技大)・永井宏幸 (長岡技大)・○加藤雅之
8. 長波放射による冷室の試み
○対馬勝年・田内太平・田中るみ (富山大)

研究発表・製品発表検討会プログラム

第1会場 (講義棟 D 講義室)

I. 利雪克雪 10:00~11:50

座長: 山口 悟 (防災科研・雪氷防災研究センター)

小川克昌 ((有)アサップ)

1. 越後雪かき道場 2008
○大堀和明・上村靖司・諸橋和行・木村浩和・河内 毅 (越後雪かき道場 2008 実行委)
2. 中越地震被災地における住宅再建後の屋根雪処理方法の実態調査
梶 壮志 (新潟大・理) ○河島克久・福留邦洋・和泉 薫・卜部厚志・鈴木幸治 (新潟大・災害復興セ)

II. 製品発表・交通・着冰雪 14:00~15:00

座長: 宮崎伸夫 ((有)クライメットエンジニアリング)

9. 複合型融雪システム-OASIS
○桑原賢二・池野正志・藤野丈志 ((株)興和)・上村靖司 (長岡技大)
10. 路面凍結検知器を用いた凍結過程における電気伝導度の変化に関する実験
小川克昌 ((有)アサップ)
11. 疑似路面センサーの次世代型センシング機能の研究
山田忠幸 (山田技研)・○杉森正義 (越前クリエイティブ)・竹内正紀 (元福井大・工)・石坂雅昭・山口 悟・佐藤篤司 (防災科研・雪氷)

12. 雪玉の安息角測定 (その 2)
小林俊市 (防災科研・雪氷)
13. 周期加熱による着雪除去技術の開発
○鈴木善和 (長岡技大院)・上村靖司 (長岡技大院)・小川克昌 ((有)アサップ)

Ⅲ. 雪氷物理 15:00~15:50

座長: 島田 互 (富山大学大学院理工学研究部)

14. 雪試料の誘電緩和時間と結晶成長由来
○竹井 巖 (北陸大)
15. 放射冷却による無気泡・単結晶水の生成条件
上村靖司 (長岡技大)・木幡一秀・○植田巧人 (長岡技大)
16. エアロゾルの氷晶核化能力
○加藤孝春・島田 互 (富山大・理)
17. TBAB 準包接水和物結晶核生成のメモリー効果
○島田 互・高井香織 (富山大・理)

Ⅳ. 雪氷化学 16:00~16:40

座長: 渡辺幸一 (富山県立大学短大部)

18. 雪面上のオゾン濃度と「雪さらし」
○石坂雅昭・山口 悟 (防災科研・雪氷)
19. 長岡市における降水の過酸化水素濃度
廣田洸平・恩田純一・○佐藤和秀 (長岡高専)
20. 立山・室堂平における積雪層中の過酸化物およびイオン成分濃度の測定
○渡辺幸一・青木美貴子・江田奈希紗・成瀬功・山田大嗣・川渕麻菜美 (富山県立大短大部)・川田邦夫 (富山大)

Ⅴ. 降雪・雪氷気象 16:40~17:40

座長: 長峰 聡 (新潟地方気象台)

21. 新潟県の降雪分布に及ぼす北陸の地形の影響
○岩本勉之・中井専入・佐藤篤司 (防災科研・雪氷)
22. 雪雲上陸時の降水強度: レーダーとモデルの比較
○中井専入 (防災科研・雪氷)・加藤輝之 (気象研・予報)・岩本勉之・石坂雅昭・佐藤篤司 (防災科研・雪氷)
23. 光学式降雪粒子計測器を用いた北陸地域での雨/雪判別に関する研究

○小田島未来子・熊倉俊郎 (長岡技大)・田村盛彰 (田村雪氷研)・石坂雅昭 (防災科研・雪氷)

24. 分布型融雪流出解析モデルの同定法の検討
浮須修栄・高橋 明 (三国川ダム管理所)・中村良光・野口卓記 (雪センター)・陸 旻皎 (長岡技大)・○渡辺伸一・杉田明史・早川典生 ((株)アルゴス)
25. 降積雪期における雪面付近の気温観測
○中井専入・山口 悟 (防災科研・雪氷)

第 2 会場 (講義棟 E 講義室)

Ⅵ. 雪崩 1 10:00~10:50

座長: 伊藤陽一 (土木研究所雪崩・地すべり研究センター)

26. 国道 17 号における雪崩パトロール現場への雪崩危険度予測システムの導入
○松井富栄・町田 誠・早川典生 (町田建設(株))・樋口徳男 (長岡国道事務所)・平島寛行・上石 勲・佐藤篤司 (防災科研・雪氷)
27. WEB カメラを用いた雪崩発生警報システムの研究開発
○加藤 務 (新潟電機(株))・上石 勲・佐藤篤司 (防災科研・雪氷)
28. 簡易な積雪変質モデルを用いた雪崩情報システムの構築
○西村浩一 (新潟大)・小倉 勉・小松麻美 (日本気象協会)
29. しもづらめ化率の積雪変質モデルへの導入
○平島寛行・阿部 修・佐藤篤司 (防災科研・雪氷)・Michael Lehning (SLF)

Ⅶ. 積雪分布・融雪 11:00~11:50

座長: 松元高峰 (新潟大学災害復興科学センター)

30. 中部山岳地における積雪の地域特性の研究—07-08 冬期の観測結果 (速報)—
池田慎二 (新潟大院/(株)アルゴス)
31. GIS 防災情報ボランティアによる積雪深情報の集約・提供の仕組み確立に向けた検証実験
○河島克久 (新潟大・災害復興科学セ)・GIS 防災情報ボランティア検討ワーキング
32. 関川流域における流出への融雪量の寄与について
○横山宏太郎 (中央農研北陸)・水津重雄 (ジ

オシステムズ)・小南靖弘・中野聡史(中央農研北陸)・宮崎伸夫((有)クライメットエンジニアリング)

33. アメダスデータを利用した簡便な融雪量推定ツールの作成
○長峰 聡(新潟地方気象台)

VIII. 氷河・雪渓・気候 14:00~14:40

座長:木戸瑞佳(富山県環境科学センター)

34. 南米パタゴニア地域における海洋性氷河流域の流出モデリング
○松元高峰(北大理学研究院/現:新潟大)・紺屋恵子(JAMSTEC)・佐藤軌文(開発工営社環境部)
35. 白山千蛇ヶ池雪渓の夏季規模の経年変化
○小川弘司(石川県白山自然保護セ)・伊藤文雄(福井大)
36. 気温別降水分布の経年変化について
○山口 悟・岩本勉之・中井専入(防災科研・雪氷)

IX. 吹雪・積雪構造 14:40~15:30

座長:平島寛行(防災科研・雪氷防災研究センター)

37. 風洞実験と数値モデルによる吹雪の発達プロセスの解明
○鈴木 貴(新潟大院)・根本征樹(防災科研・雪氷)・西村浩一(新潟大)
38. 風洞内における吹雪粒子の電荷-質量比率の測定
○大宮 哲(北大院)・佐藤篤司・小杉健二・望月重人(防災科研・雪氷)
39. 雪底の内部構造の観察と力学的解析
○金子直樹・川田邦夫(富山大)
40. 積雪の諸要素と音響減衰係数との関係(2)
○小南靖弘・横山宏太郎(中央農研北陸)

X. 雪崩 2 15:40~17:30

座長:町田 敬(長岡技術科学大学)

池田慎二((株)アルゴス)

41. 土砂を伴った全層雪崩の発生機構に関する研究(2)
○鈴木正一(新潟大・院)・和泉 薫・河島克久(新潟大・災害復興科学セ)・上石 勲(防

災科研・雪氷)

42. 2007-08 年冬期の雪崩災害の発生状況とその特徴
○長部友和(新潟大・工)・和泉 薫・河島克久(新潟大・災害復興科学セ)
43. 魚沼地域今年の雪崩と雪崩防止施設
○町田 誠・早川典生(町田建設(株))
44. 十日町地域で発生した雪崩事例報告
○青木文行・町田 誠・早川典生(町田建設(株))・町田 敬(長岡技大)
45. 2008 年 2 月 17 日妙高・幕の沢で発生した大規模な乾雪表層雪崩の調査報告
○竹内由香里¹・和泉 薫²・上石 勲³・河島克久²・山口 悟³・宮崎伸夫⁴・遠藤八十一・村上茂樹¹・西村浩一⁵・Evgeniy Podolskiy⁵・鈴木 貴⁵・平島寛行³・新開龍三郎⁶・花岡正明⁷・岩崎和彦⁷(1 森林総研・十日町, 2 新潟大・災害復興セ, 3 防災科研・雪氷, 4(有)クライメットエンジニアリング, 5 新潟大・理, 6(株)アルゴス, 7 土木研)
46. 2008 年 2 月 17 日, 妙高幕の沢で発生した雪崩の発生状況解析
○上石 勲・平島寛行(防災科研・雪氷)・竹内由香里(森林総研・十日町)・山口 悟(防災科研・雪氷)・新開龍三郎((株)アルゴス)
47. 2008.2 妙高杉の原で発生した大規模雪崩
○伊藤陽一・鈴木聡樹(土木研), 池田慎二・新開龍三郎・杉本昌春((株)アルゴス)
48. 雪崩防止のための応急対策-雪崩パトロールの現場から-
○岩崎 剛・町田 誠・早川典生(町田建設(株))・町田 敬(長岡技大)
49. 雪中爆破工法における爆薬量と装薬深の検討
○町田 敬・陸 旻皎(長岡技大)・上石 勲・佐藤篤司(防災科研・雪氷)・町田 誠・早川典生(町田建設(株))
(富山県環境科学センター 木戸瑞佳 記)

『雪氷北信越 第 28 号』発行のお知らせ

当支部の活動報告や研究発表会・製品発表検討会の予稿集を掲載した機関誌『雪氷北信越』第 28 号 (2008 年 6 月 発行) は支部ホームページ (<http://www.seppyo.org/~hse/>) にて自由に閲覧できるようになりました。これまで同様の印刷

冊子をご希望の方は有料で頒布しますので、『雪氷』70 巻 2 号 (p. 130) の要領でお申し込み下さい。

(森林総合研究所十日町試験地 竹内由香里 記)
(2008 年 6 月 10 日受付)

<お詫び>「雪氷」70 巻のページの不連続について

「雪氷」のページは 1 号～6 号までの 1 巻を通し番号で表していますが、編集局のミスにより、「雪氷」70 巻では 1 号 : 1～94 ページ, 2 号 : 97～144 ページ, 3 号 : 357～422 ページと, 1～3 号の間で不連続が生じてしまいました。

しかしながら, これを改めると, ページの引用等で間違いや混乱の生ずる恐れがあるため, 既刊のページのまま修正しないことといたします。

不手際をお詫びいたしますとともに, ご了承くださいますようお願いいたします。

雪氷編集委員長 遠藤八十一